

# 令和2年度9月追加補正予算の概要

## 新型コロナウイルス感染症対策関連補正予算

令和2年9月 新居浜市

### 1 予算規模

今回の補正予算は、新型コロナウイルス感染症対策に関する国の地方創生臨時交付金を活用した補正予算（第7号）で、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するための新しい生活様式に対応する各種事業費について、予算措置を行っています。

この結果、一般会計では、補正額 5億8,355万8千円の追加、補正後の予算総額は、652億8,776万9千円となり、対前年度同期比は、150億8,944万8千円、30.1%の増となっています。

		一般会計
補正前		647億 421万1千円
今回補正額		5億8,355万8千円
補正後		652億8,776万9千円
令和元年度		501億9,832万1千円
対前年度 増減	額	150億8,944万8千円
	率	30.1%

## 2 補正予算（第7号）の概要（地方創生臨時交付金の活用）



地方創生臨時交付金事業 合計5億8,355万8千円

※赤字は概要説明事業

### I 感染拡大の防止 ～地域の命を守る～ (1億7,015万1千円)

■ 市庁舎トイレ感染症対策事業	1,220万	円
■ 事業所等感染症対策事業費	200万	円
■ 個人番号カード交付事業費	304万	円
■ 窓口機器整備事業費	677万6千円	
■ 観光施設感染症対策整備事業	4,400万	円
■ エッセンシャルワーカー応援ライトアップ事業	680万	円
■ 小中学校感染症対策整備事業費	8,663万5千円	
■ 体育施設感染症対策整備事業	870万	円

### II 雇用の維持と事業の継続 ～暮らしを支え、守りきる～ (1,778万5千円)

■ 学校臨時休業対策費	672万	円
■ 図書館パワーアップ事業費	1,106万5千円	

### III 経済活動の回復 ～地域経済を立て直す～ (2億5,120万円)

■ 地場産業育成費	300万	円
■ 企業調査費	810万	円
■ サテライトオフィス等誘致支援事業費	1億3,000万	円
■ 観光宣伝推進費	2,950万	円
■ 野菜生産販売体制応援事業費	3,790万	円
■ 別子木材センター販路開拓支援事業費	500万	円
■ 大島サイクリングロード環境整備事業費	3,400万	円
■ オンラインあかがねマラソン開催事業費	370万	円

### IV 強靱な経済構造の構築 ～感染症に強い地域経済を～ (1億4,442万2千円)

■ 見守りシステム検証事業費	2,677万4千円	
■ 移住者支援住環境整備事業	2,243万8千円	
■ Uターン促進事業費	2,800万	円
■ 雇用対策費	500万	円
■ 観光事業推進費	161万	円
■ 新居浜市IoT推進ラボ実施事業費	3,000万	円
■ インバウンド観光推進事業費	660万	円
■ 新居浜太鼓祭り魅力持続化事業費	2,400万	円

### 3 一般会計補正予算の事業概要

## I 感染拡大の防止～地域の命を守る～ (1億7,015万1千円)

### 事業所等感染症対策事業費 (200万円)

新型コロナウイルス感染症患者の濃厚接触者が、訪問もしくは就労している事業所等における消毒作業にかかる経費のうち、愛媛県が対応していない部分を補助します。

- 対象：濃厚接触者と認定されPCR検査の結果「陰性」と判定された方の関係する事業所

※感染者及び濃厚接触者のうちPCR検査で陽性となった場合は、愛媛県が消毒作業を実施。

- 補助額：上限20万円(補助率10/10) ※10か所分を想定

【参考】消毒にかかる費用の相場は、10万円/100㎡

### 小中学校感染症対策整備事業費 (8,663万5千円)

市内の小中学校等において感染症対策を強化するため、非接触体表面温度測定器等の整備や、トイレ手洗い蛇口のセンサー化（自動化）などをおこないます。

- ①カメラ型サーモグラフィ × 27台（全小中学校）
- ②ユニット型体表面温度チェッカー × 3台（公立幼稚園・あすなる教室）
- ③二酸化炭素測定器 × 5台（教室の二酸化炭素濃度を測定し適切な換気を推進）
- 小中学校トイレ手洗い蛇口の自動水栓化 @5万円×1000か所 など

### 体育施設感染症対策整備事業 (870万円)

山根体育館において、玄関ロビーに空調を設置し、休憩時等の利用者の分散を促すことで感染症対策を行います。

- 山根体育館ロビー空調設置工事  
870万円



## Ⅱ 雇用の維持と事業の継続 ～暮らしを支え、守りきる～

(1,778万5千円)

### 図書館パワーアップ事業費

(1,106万5千円)

市立図書館の蔵書を充実させるとともに、電子図書館等の電子サービスを導入することによって、withコロナ時代に適応した、自宅における読書活動や学習活動を多世代にわたって充実させます。

#### ■ 蔵書の充実

- ・毎年の図書購入計画で購入し切れていない図書を購入し「知の拠点」の充実を図ります。
- ・図書購入費 約1,100冊 620万円

#### ■ 電子サービス導入

- ・自宅からインターネットを通して電子書籍を貸し出す「電子図書館」及び「ナクス・ミュージック・ライブラリー（無料音楽配信サービス）」を導入します。
- ・コンテンツ利用料、初期導入費用ほか 486万5千円

## Ⅲ 経済活動の回復～地域経済を立て直す～ (2億5,120万円)

### サテライトオフィス等誘致支援事業費

(1億3,000万円)

市内へのサテライトオフィスの誘致に向けて、施設の改修等の経費を補助します。

#### ■ サテライトオフィス等に係る整備支援補助メニュー（拠点整備支援）

市内でサテライトオフィス等を整備する民間事業者へ上限1,000万円の補助を行います。

- ・1,000万円× 3件 = 3,000万円

#### ■ サテライトオフィス等への入居企業向け補助メニュー（誘致促進）

新たに市内サテライトオフィス等へ入居する市外企業へ上限1,000万円の補助を行います。

- ・1,000万円× 10件 = 1億円



## 観光宣伝推進費

(2,950万円)

減少した観光客を誘客するため、魅力あるコンテンツを制作します。

### ■ 観光施設周遊促進事業 1,100万円

現在、市内9施設が連携してスタンプラリーを行うことで施設間の周遊強化を図る「ぐるっと新居浜周遊事業」を実施していますが、これをベースとしたインターネットアプリケーションを制作します。

・日暮別邸記念館  
・別子銅山記念館  
・愛媛県総合科学博物館  
・みなとオアシスマリンパーク新居浜  
・マイントピア別子端出場ゾーン  
・マイントピア別子東平ゾーン

・あかがねミュージアム  
・広瀬歴史記念館  
・森林公園ゆらぎの森

対象9施設

#### 【アプリケーションの内容】

東平等のLIVE観光映像  
本人の位置情報等表示マップ  
スタンプラリー電子化  
5か国語対応 など

### ■ どこでも新居浜トラベル体験事業 550万円

地元の企業やフリーカメラマンを活用して、市内観光名所を映像化し、YouTube等インターネットでの配信を行うことで、本市の観光施設をPRし、誘客につなげます。また、市外でのイベントにて、VRや写真を通じて新居浜観光を疑似体験できる観光PRブースを設置します。

### ■ 地域の魅力と観光情報番組発信事業 1,000万円

GOTトラベルキャンペーンなどの観光需要の高まりにむけて、マスメディアを活用したテレビ番組等を制作し発信することにより、全国に向けて本市の知名度の向上、観光振興を図ります。

### ■ 旅行情報誌を活用したプロモーション事業 300万円

全国的に定期購読されている旅行情報誌にて、別子銅山をテーマとした特集を組むことで、観光客の誘客につなげます。

## 野菜生産販売体制応援事業費

(3,790万円)

地産地消を目的として、新たに産直市を開設する事業者および既に開設している事業者を支援し、出荷者を市内で発掘するとともに、販売農家に対して希少品種野菜の栽培を推進することで、新型コロナウイルスの影響による売上減少等の影響をうけた農家を支援します。

■ 補助経費	普及啓発費	330万円	視察研修費	100万円
	広告宣伝費	370万円	消耗品費	690万円
	種苗購入費	2,300万円		

## 大島サイクリングロード環境整備事業費

(3,400万円)

愛媛マルゴト自転車道ファミリー向けコースに指定されている市道大島支線について、自転車観光の推進に向けた緊急的な整備を行います。当路線の整備を行うことで、新型コロナウイルスにより落ち込んだ、観光客やサイクリスト等利用者の増加につなげます。



- 整備内容 道路側溝・路面清掃  
支障樹木伐採など

## IV 強靱な経済構造の構築 ～感染症に強い地域経済を～

(1億4,442万2千円)

### 移住者支援住環境整備事業

(2,243万8千円)

県外からの移住者の住宅取得、改修に対する支援や、別子山・大島地区の空き家改修に対する支援を行い、テレワーク勤務の推進や、移住者の増加につなげます。

#### ■ 実施内容

- 光ケーブルの敷設工事・上水道の整備（移住者支援住宅）
- 空き家改修支援（別子山・大島地区）
- 住宅取得（改修）支援（県外からの移住者）



### 新居浜市 IoT 推進ラボ実施事業費

(3,000万円)

IT活用ノウハウやIT人材の不足により、デジタル技術の活用が進んでいない中小企業のIT利活用を推進するため、旗振り役として「新居浜市IoT推進ラボ」を創設し、地域課題に応じたIoTプロジェクトの発掘、企業の先進的な取り組みの横展開を図ることにより、地域全体のDX(デジタルトランスフォーメーション)を推進します。

- IoT推進ラボの運営
- 企業のデジタル化（ITコーディネータ派遣、IoTワークショップ開催）
- AI人材の育成（市民・学生向けAIオンライン教育など）
- IT企業の誘致（IT企業誘致専用ホームページの作成）

# 新居浜太鼓祭り魅力持続化事業費

(2,400万円)

令和2年に開催を予定していた新居浜太鼓祭りの開催が自粛となったことから、新居浜太鼓祭りの魅力を市内外に発信することで、本市への誘客につなげます。

## ■オンラインプロモーション事業 660万円

ふるさと祭り東京オンラインにて新居浜太鼓祭りのコンテンツを開設することにより、新居浜太鼓祭りの魅力を全国へ発信し、本市への誘客に繋がります。

## ■特別番組等制作事業 1,200万円

特別番組を制作し、例年開催を楽しみにしていた愛媛県民向けに披露します。また、制作した特別番組を活用し、新しい生活様式に対応したイベントを開催します。



## ■新居浜太鼓祭り持続化事業補助金 540万円

新居浜市太鼓祭り推進委員会において、新型コロナウイルス感染拡大を未然に防ぐため協議を重ねてきたことや、次回の新居浜太鼓祭りの開催に向け、新しい生活様式に適した開催を考慮し検討するため、新居浜市太鼓祭り推進委員会に対し補助します。

新居浜市新型コロナウイルス感染症対策関連予算 (7号補正分) まとめ		
I	感染拡大の防止	1億7,015万1千円
II	雇用の維持と事業の継続	1,778万5千円
III	経済活動の回復	2億5,120万円
IV	強靱な経済構造の構築	1億4,442万2千円
合計		5億8,355万8千円
歳入	地方創生臨時交付金	5億8,355万8千円